

## 大井町 経済動向分析

### ①生産分析について

総額では3次産業が619億円と最も多く、2次産業が369億円、1次産業が12億円と続く。2010年から2015年にかけて、産業別の生産額順は変わらないものの、3次産業は253億円減少、2次産業は109億円増加、1次産業は11億円増加している。一人当たりの生産額は、第2次産業が最も多く24.33百万円、第3次産業が13.56百万円、第1次産業が4.09百万円と続く。こちらは2010年から2015年にかけて、1次・3次の増減は少ないが、2次産業は8.69百万円増加と大きく変化している。

(2015年 経済産業省「地域経済循環分析」)

### ②From-To分析について

県内人口は平日日中に減少し、夜間・休日に増加する。町外への通勤・通学者の動きが反映していると思われる。

県外滞在人口は平日休日ともに全ての時間帯において東京都と静岡県が8割以上を占める。

#### 【平日の滞在人口】

県内：13,690人(4時)－12,085人(10時)－12,085人(14時)－13,378人(20時)

県外：175人(4時)－390人(10時)－406人(14時)－197人(20時)

#### 【休日の滞在人口】

県内：13,750人(4時)－13,533人(10時)－13,476人(14時)－13,659人(20時)

県外：191人(4時)－389人(10時)－444人(14時)－257人(20時)

(2020年6月 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモインサイトマーケティング「モバイル空間統計」)

### ③産業構造について

企業数は不動産業・物品賃貸業が20.6%と最も多く、卸売業・小売業18.2%、建設業14.6%、宿泊業・飲食サービス業12.1%と続く。全国や神奈川県との統計と比較して特徴的なのは、不動産業・物品賃貸業が続く3業種と比べて多数となっている点や、製造業の中で食料品製造業が多数となっている点、卸売業・小売業の中で機械器具小売業が多数となっている点が挙げられる。

(2016年 総務省「経済センサス」)

### ④外国人訪問分析、及び観光客の目的地・出発地・宿泊者数の分析

町内に滞在した外国人の数は、例年8月頃に増加する傾向にあり、2019年8月には約400人滞在した。直近の数値では2020年1月に約260人、2月に約200人滞在しているが、例年と比べて大きな変化は見られない。

(2020年 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモインサイトマーケティング「モバイル空間統計」)

目的地としては、公共交通機関・自動車・平日・休日ともにビオトピアといこいの村あしがらが多く、次いで総合体育館や神奈川大井射撃場や山田総合グラウンドが経路検索されている。

(株式会社ナビタイムジャパン「経路検索条件データ」)

2019年の宿泊者は1,279人で、出発地は神奈川県が448人と最も多く、東京都241人、兵庫県205人、滋賀県143人と続く。出発地の3位以下は年ごとに異なる。

(2019年 観光予報プラットフォーム推進協議会「観光予報プラットフォーム」)

### ⑤町の流動人口、消費傾向に関する分析

流動人口については、夜間は平日・休日に差異はなく、日中は平日の人口が減少し、休日に変化はない。通勤・通学のために町外へ出ていく人は多いが、休日に町内が目的地に選ばれることが少ないようである。

(2020年 株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモインサイトマーケティング「モバイル空間統計」)

神奈川県の消費傾向については、生鮮・惣菜が34.24%と最も多く、加工食品15.33%、飲料・酒類11.71%、菓子類8.17%と続く。これは全国の傾向と変わらない。

(2020年7月 株式会社True Data「True Data」)